

Topics 1 年生理数科 乗鞍岳 畳平研修



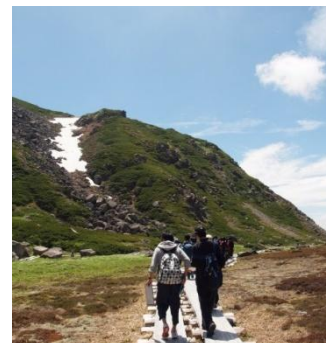
平成26年7月15日（火）に、理数科一年生は乗鞍岳畳平周辺へ行ってきました。

1年生SPPのテーマは「岐阜の自然を学び、生物多様性を考える」です。

今回は岐阜県博物館の船戸先生と一緒に、乗鞍岳の植生の移り変わり、高山植物や動物について学んできました。

←乗鞍岳の山頂のひとつ「魔王岳」山頂で
集合写真

乗鞍岳までの道のりは、植物の山地帯～亜高山帯～高山帯の移り変わりがはっきりと観察できます。樹木が生育できる限界の「森林限界」付近では、背の高い樹木は見られず、地を這うように生えるハイマツや高山植物が生育しています。



↑お花畑で高山植物を観察。メガホンを握って解説してくださっているのが、船戸先生です。

観察できた高山植物



▲コマクサ



▲ハクサンイチゲ



▲コイワカガミとコケモモ



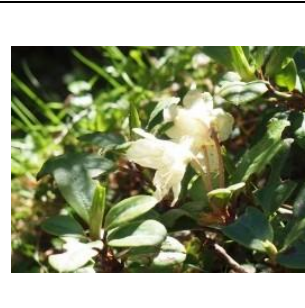
▲クロユリ



▲ミヤマキンバイ



▲イワツメグサ



▲キバナシャクナゲ

なんと！岐阜県の県鳥「ライチョウ」の親子を見ることが出来ました！



▲ライチョウ（メス）



▲ライチョウ（メス）



▲ライチョウのヒナ

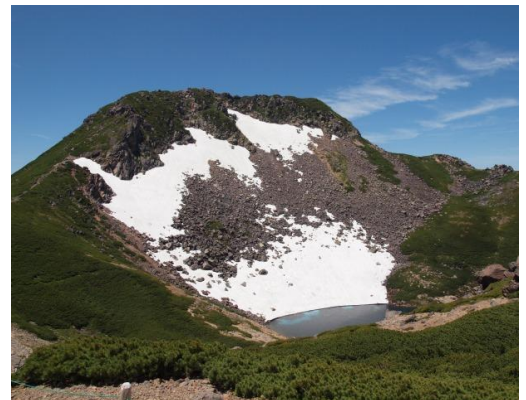
高地ならではの実験もしました。



↑90℃で沸騰する水



↑気圧の差で膨らむポテトチップスの袋



↑乗鞍岳の山頂のひとつ「恵比寿岳」の火口

火山地形もよく観察できました。



←檜ヶ岳～穂高岳の連峰

写真は撮れませんでしたでしたが、帰りにバスの前をニホンカモシカが横切りました！
晴天に恵まれ、たくさんの動植物や地形を観察できた、満足度の非常に高い研修でした。

生徒の声

- ・乗鞍岳に行ってみて、背丈の低い植物ばかりだったので、思ったより遠くまで見渡すことができ良かった。人の手がつけられていない、自然のままだとあって、見たことがないものが多くあり、今後も守っていくべきだと思った。
- ・自然っていうのはとてもきれいだなと思いました。どんどん人の手で変わっていってしまうけど、人の手では作れない美しさがあると思うので、守っていけたらな、と思いました。
- ・乗鞍岳に行くまでは森林限界は山頂のような、ハイマツもはえられないようなゴツゴツだと思っていたけど、お花畑はきれいだったし、緑がいっぱいで想像と違ってました。実際に見ることができて良かったです。
- ・僕はこの研修で、袋菓子とペットボトルで気圧の変化を見ました。とてもパンパンにふくらんでいて、気圧の違いがよくわかり、それが高山に住む生物との差にもなることが分かりました。楽しかったです。